

『小学校のスタートカリキュラムについて』

0歳からの「ひのっ子カリキュラム」を作成する中で、「人とのかかわり」、「生活」、「学び」の3つの柱で、小学校入門期のねらいと学習活動を整理してきました。「学び」にかかわる学習活動は、各教科として位置付けられるものが多いのですが、2週間のスタートカリキュラムでは、人とのかかわりや生活にかかわるものが多くあります。そこで、学習活動を合科的な指導や、朝の健康観察など、教科の枠を超えたものにしたり、学級活動や生活科などに主として位置付けたりしました。

小学校入門期の指導計画は、平成18年度に基本となる考え方をまとめ、19年度に学習指導案の形で作成しています。2週間の学習内容を週ごとの指導計画の形で具体的に表し、指導にあたって配慮する点についても分かりやすく示したことから、各学校の入門期の指導に広く活用されています。そこで、指導計画の形や入門期の配慮事項の基本的な考え方は生かすことにして、文字指導の時期を早めることや、道徳の時間の見直し、学習活動例を豊富にすること、学習指導案の書き方の工夫を行うことの4点を今年度行いました。

【スタートカリキュラムの工夫】

○遊びを通した学びと教科ごとの学習における接続

- ⇒ ・幼稚園、保育所で経験してきたことを踏まえ、児童の経験や学びを共通のものにしながら、新しい学習を取り入れる。
- ・幼稚園、保育所の特性を取り入れ、探検形式やゲーム的な活動を組み、児童が意欲的に取り組める学習にする。
- ・生活科を核に、様々な教科を取り込んだ総合的な学習活動とし、それぞれの教科のねらいを組み込んでいく。



○幼稚園・保育所と小学校の生活時程における接続

- ⇒ 15分を1単位時間として活動を組み立て、1時間の活動内容の組み合わせを工夫することで、授業の形式に徐々に慣れるようにする。

○環境設定の接続

- ⇒ 表記は絵と文字で表し、視覚的に分かるようにする。

○人とのかかわりの接続

- ⇒ 友達の名前を覚えて、仲良くなるきっかけを作れるような活動をたくさん設定する。

○登降園指導と登下校指導における接続

- ⇒ 下校前に歌う活動を取り入れたり、週末の持ち帰りなどの指導を丁寧に行ったりする。「日野市の5歳児が親しむ歌のベスト50」のCDを活用する。